

# 読む ミルク



世の中には、補助金や助成金、各種の賞が多々あります。

こういった公募情報は、日ごろから気にかけている人はうまく見つけ出しますが、一般の人は存在すら知らないのが現状です。また、書きなれていない人は、応募書類の入力項目を難解な言葉ととらえ、自分のレベルでは応募は無理だと思っ

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

書き方は、高校や大学ではもちろん指導していません。では、企業で学べるかというと、限られた部署でしか経験できません。

身近にない言葉に拒絶反応を示すこともなく、文章の確に自社をPRできる才能を持った人はいます。このような人は、放ってお

授賞式が10月に富山県で行われることもあり、ぜひ地元から選出されるよう、私も周囲に声をかけさせていきたいと思っています。

この賞は、頑張ろうとしている女性起業家を発掘し、支援するのが目的です。にもかかわらず、対象となる多くの方は公募を知りま

念」は難しい言葉ととらえられてしまうのです。「公的機関の相談窓口」に行き、指導を受ければ良いのに……」という声もあるでしょう。しかし、女性起業家に関する調査でも指摘されているように、女性は「敷居が高い」「行くレベルでない」という理由で行

いる機関はほんの一握りです。金沢市の「ゆめまちづくり活動支援事業」は、応募書類に関する添削指導がきちんとされており、非常に評価できるシステムです。応募者は自分のどこが悪く、どうすれば次回につながるのかわかるだけでなく、書類の書き方を学べるので、ほかの公募にも対応できる力が付きます。

## 起業支援利用しやすく

いても自分で公募情報を見つけて申請します。しかし、補助金や助成金、賞の意味は、埋もれた人や支援を必要としている伸び盛りの人たちに利用してもらおうことではないでしょうか？

今年度の日本商工会議所の「女性起業家大賞」は、今月30日が締め切りです。

せん。応募を勧めても、経営資源が不足している女性起業家の卵の方々は、「自分のレベルでは無理」と言われま

申請書類の書き方のアドバイスをしていて気付いたのですが、「創業の動機」は書いても、経営に携わっていない女性には「経営理

きたがりません。公的機関の支援は、対象者が公募を知り、応募し、それによって飛躍の糧となるためであるべきですが、うまく噛み合っていない

また、応募して選出されなかった方々にとっては、添削指導などのフォローが重要ですが、それを行って

支援は育成を目的としているのですから、落ちた人に「やっぱり自分のレベルでは……」と自信をなくさせるのでなく、「何が必要だったのか」「どう書けばよかったのか」を指導することが重要です。この点を考慮すれば、応募者が増え、書類のレベルが上がるだけでなく、種々の相乗効果が生まれるのではないのでしょうか？